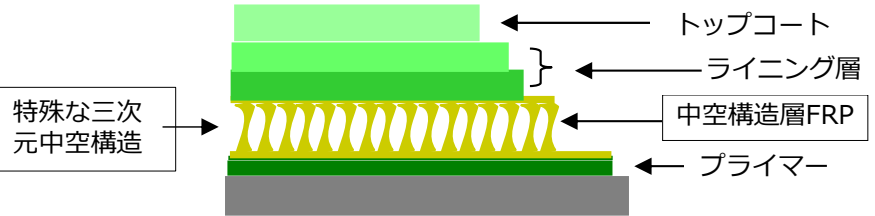


地下貯槽の漏洩対策は、万全ですか？

WDS(ウォーターダクトシステム)とは、既設または新設の貯槽内に一般的なFRPライニング及び特殊な三次元中空構造FRPライニングを施した、万が一の槽外への漏洩事故を未然に防ぐ、保守管理が可能な画期的なライニングシステムです！

WDSの特長

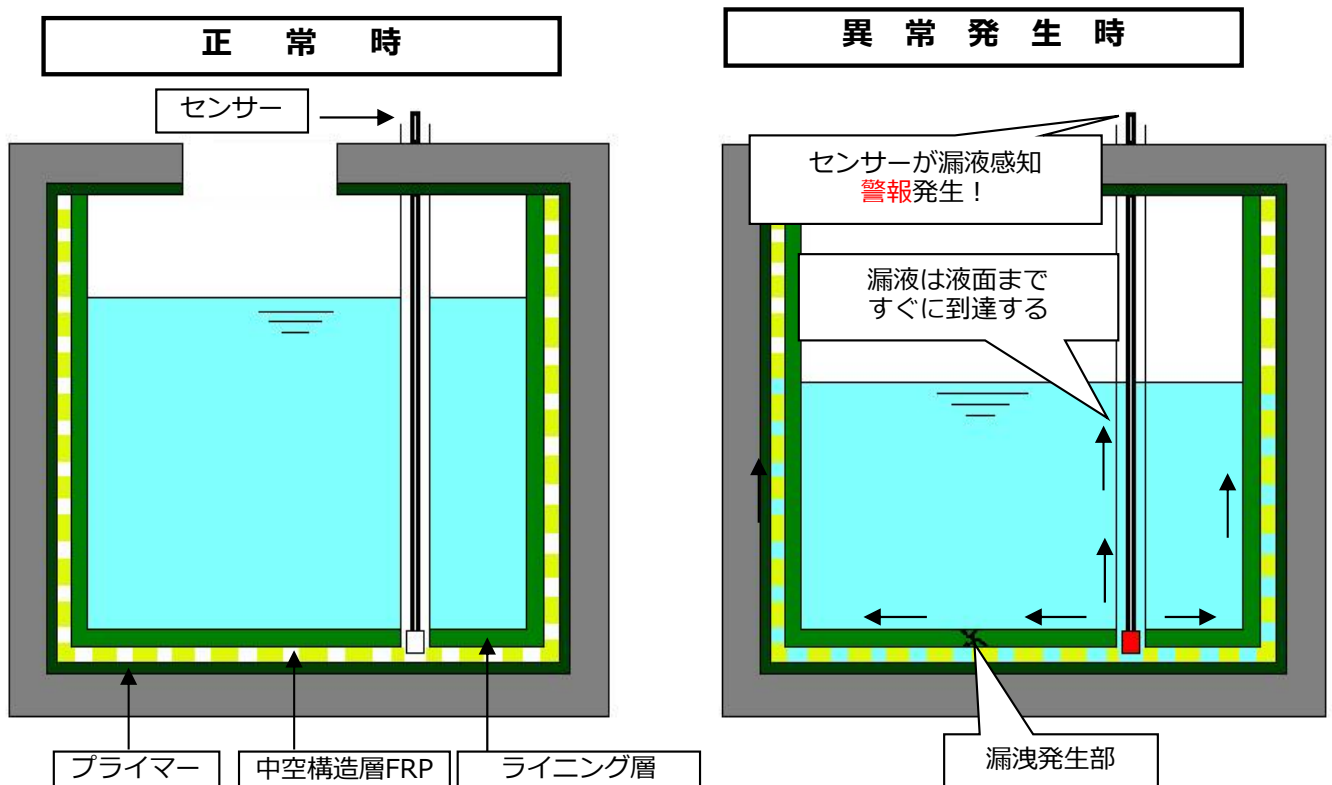
WDSは主に、ビニールエステル樹脂で出来た繊維強化プラスチック(FRP)を用います。このFRPは貯留液の性質に合わせた耐久性のあるものを選択しますので、高い耐蝕性があります。また、1平方センチメートルあたり約5トンの圧にも負けない、高い耐圧性を有しています。



構造躯体 (主にコンクリート)

また、もう一つの特長として、地下貯槽が何らかの原因で破断し、液が漏れたとき、瞬時に発見し、漏洩を知らせます。これは用いるFRPの三次元中空構造を利用したシステムです。貯槽内部にセンサー導入管を中空構造層まで図のように設置します。漏洩が発生したとき、漏液は中空層内を巡り、直ちに貯槽の液面と同じ高さに到達しようとする。この時、センサー導入管内にも同じ高さまで漏液は流れ込み、センサーが漏液を感知し直ちに警告を発します。構造躯体の浸食、槽外への汚染拡大を未然に防ぐ手法であり、既存の貯槽にも無理なく導入することができます。

漏液感知の仕組み



漏洩してもすぐに警告が発せられ、重大な漏洩事故を未然に防止！
見えない不安に見える安心に変えるWDS！ぜひご検討ください。